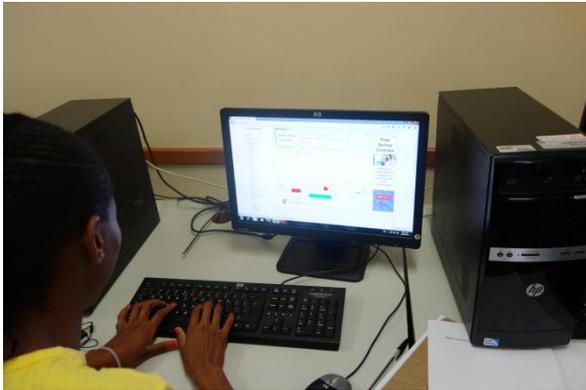


## 職種 コンピュータ技術 任地 ジュワネン 平成 27 年度 1 次隊

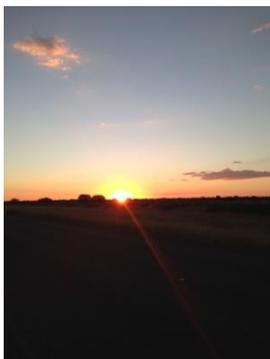
私はジュワネンテクニカルカレッジという技術短期大学のビジネス部門 ICT 科に所属しています。主な仕事としては学内のコンピュータおよびサーバ、コンピュータネットワークの保守とヘルプデスク業務です。配属当初はウイルス感染がひどく 150 台前



後の PC を手作業でウイルス対策していく日々でした。

ウイルス対策は国として中央サーバを持っており、ウイルス対策ソフトウェアクライアントも配布されていますが、何故かこの IT オフィサーがそのソフトウェアを使いたがらない傾向がありました。理由を聞くと「信用できない」という話でした。しかし、状況から考えると、中央サーバに変更やバージョンアップが生じ、クライアントソフトウェアを再導入しなければならない状況放置されていたため、ウイルス定義が古いままとなりウイルスが蔓延したようです。中央からの案内がなかったのか、ただの IT オフィサーの怠慢なのかはわかりません。こちらの人は導入したら導入しっぱなしで盲目的に信じその後のことは一切気にしないということが諸悪の根源だと考えています。

さて、他にも赴任当初から 1 年は学内サーバを多重化したり、配線を敷設しなおしたりと多くの作業を行いました。また、ICT 学科の生徒は課題を単元ごとに作る必要があるのですが、彼らの授業の実習時間に先生が頻繁に消えることが多いため、生徒の質問を受けつつ、印刷をしつつ（プリンタが壊れておりオフィスでしかできない）、オフィスの電話にも出るという日本並みの忙しさの時期もありました。一方で業務外と思われるヘルプも多く特にスマートフォンが普及したこともあり Android 端末の初期化



や、リカバリ、WhatsApp の使い方までスマホに関するヘルプも多かったこともありました。

現状、赴任から 1 年半経過しました。2016 年 10 月に独立後 50 周年を迎えたボツワナは教育省が基礎教育省、高等教育省、職業訓練省の 3 つに分断され、3 学期制からセメスター制に変更されようとしています。その準備期間として、2017 年 10 月まで新規の生徒は取らないという国全体の方針となったので、私は 12 月に終了した生徒たちが私にとってボツワナでの最初で最後の生徒たちとなってしまいました。ダイヤモンドのおかげでこのように生徒が居ない状況でもお給料をなんの文句もなく（彼らも内心理解しているはずですが）もらえるボツワナ人スタッフに腹が立つやら呆れるやら。

生徒がいないため現状、近郊の中学校や他のボランティアが属する学校にヘルプに行ったり、先生に対してデータベースサーバの講義や日本語の講義を実施したりしています。のこり少ない任期、幸いにも多くの人に認識され仲良くしてもらっていますが少しでも彼らの記憶の残るような活動をして帰りたいです。

27年度1次隊